



研究テーマ

地域連携を深めるためのサービスエリアにおける空間デザインとサインデザイン

目的・概要

サービスエリアを「北陸伝統文化の発信」と「お客さまとの文化交流」の拠点と位置づけ、「真のくつろぎの場」を形成する空間デザイン、商品展示レイアウト、什器・調度品のデザイン企画、その空間に関するサインデザインを行ったもの。NEXCO中日本グループにとっては、成果をもって高速道路利用者へのサービス向上を目指し、また美大生にとっては、現場に関わる方々の意見を踏まえながらデザインプロセスを経験する、貴重なインターンシップの場として制作研究を行った。

委託者

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 株式会社
中日本高速道路 株式会社

期間

2010年6月～2011年3月

担当教員

デザイン科 環境デザイン専攻 鏑 隆弘 准教授、畝野 裕司 准教授

参加学生

デザイン科・環境デザイン専攻4年 竹内龍彦
デザイン科・環境デザイン専攻3年 飯沼英美 平松麻里乃 本間愛子
デザイン科・環境デザイン専攻2年 伊藤佑子 田中俊旭 寺尾智朗
デザイン科・環境デザイン専攻1年 谷佳奈恵

Process

2010.08.30

第1回プレゼンテーション
小矢部川サービスエリア(上り)の屋外空間における空間デザイン提案(一次案)。
(NEXCO中日本株式会社 会議室)



2010.11.16

第2回プレゼンテーション
サービスエリアの空間デザイン提案(2回目)およびサインデザイン提案(1回目)
(金沢美術工芸大学 会議室)



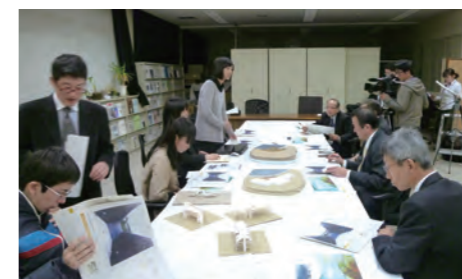
2010.12.14

第3回プレゼンテーション
サービスエリアの修正空間デザイン提案およびサインデザイン提案(2回目)
(金沢美術工芸大学 会議室)



2011.01.11

最終案検討会
モデルを使ったサービスエリアの空間デザイン提案およびサインデザイン提案(3回目)
(金沢美術工芸大学 企画情報室)

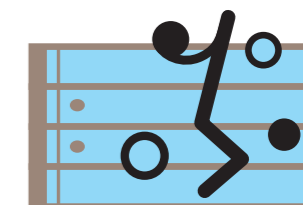


2011.03.24

発表会
空間デザインのパーツ案および「ぷらっとパーク」サイン案の発表と講評、次年度の制作研究内容の確認
(金沢美術工芸大学 LAVC室)



「ぷらっとパーク」サインデザイン



ぷらっとパーク

地域との連携を目指すサービスエリアとして、一般道路からの利用が可能なことを示し、来客を誘導することを目的としたサインデザインの方向性について検討を行った。
今年度は、一部、小矢部川サービスエリアの空間デザインでの応用を視野に入れながら、シンボルマークのデザインを中心に検討を進めた。空間デザインと同じく、イメージを基にしたキーワードをつけ、パーツとしての活用度を高めた。
次年度では、情報サイン・誘導サインなどのシステムとしての展開、現場に設置する構造物としてのデザインへの展開を目指すことにしている。